## あとがき

平氏の次は源氏なのか…、和泉式部の次は虎女か…。以前、無駄安留記隊の法美郡調査のとき、安徳天皇に関わる平家伝承は、安徳天皇の墓から内室・一族の墓、そして崩御宮など確かに「史蹟」として存在していたように思えた。高草郡の和泉式部についても同様のことが言えよう。今回の源範頼と曾我物語に登場する虎女の話も、同様に土地に根付き息づいていた。売沼神社が八上姫を祀りこの辺りが白兎神話に関係するものが多いことは存じ上げていたが、それだけではなく、ほんとうに、因幡国の調査をしていると土地が持つ伝承の「力」に驚かされる。

担当学生とともに、最勝寺の源範頼の墓だけでなく、範頼の太刀と伝えられるものを見せていただいたとき、無駄安留記の時代から変わらずその姿をとどめているものに奇跡的な歴史を感じた。しかし、これが伝わってきたのは、所蔵者の不断の積み重ねがあるからであろう。「私たちは、これが範頼の太刀かどうかということを追求するよりも、そのように言われて大切にされてきたものを今後も後世に伝えていくだけだ」と、静かに話されるご住職の言葉がすべてを語っていた。

今年度の学生たちは総勢十名で各自ひとつずつ担当を受け持った。無駄安留記八上郡の特色は、寺社と美しい景色が多かったことにあろう。そのため、聞き取り調査に関しては、最勝寺、正法寺、大安興寺、能引寺のご住職様、そして善南寺や三滝周辺の住民の方に貴重なお話をいただいた。また、四年生の蓮仏さんにも調査に協力していただいた。これほど何度も現地を訪れた調査実習もなかったように思う。しかも、非常に貴重なものを見せていただいた。最勝寺の太刀、正法寺の本堂内の装飾、大安興寺の仁王の眼玉と「薬師如来ノ白毫」、能引寺の一字一石経等々ほとんど知られていなかった地域の文化的な遺産である。それぞれ親切に対応して下された皆さまに、この場をかりて心より御礼申し上げます。

また、八上郡のもう一つの興味深さは、風景と自然にあるかもしれない。河原町の山奥にある三滝も隠れ名所に相応しい、心休まる風光明媚なところであったし、霊石山の山頂から見る鳥取平野は絶景である。三滝は四十余りある滝全体を見ることはできなかったが、学生は周辺の住民の聞き取りを実施し、オリジナルな視点も入れることができたようだ。何年も無駄安留記の調査を続けてきたが、この著者が選ぶ場所にはずれはない。さらに、最勝寺と片山八幡宮のところでは、無駄安留記の著者がいかに桜に御執心かを知った。この点は、学生がしっかりと書いてくれていると思う。

今回の調査は、周りに聞いても知らないし、踏み入れたことのない場所に行くことが多かった。大安興寺の旧地や最勝寺の旧地などはほとんど知る人もなく、ましてや大安興寺の茶釜の話は、無駄安留記やその聞き取り以外で見つけることができなかった。こうした調査が、学生自身にとっても重要な体験となったことは確信できる。そして、予想以上に「天正の兵火」がもたらした影響を知ったようである（おわりに参照）。文書や著書では見えない文化の深さを少しでも触れたことが、きっと今後の役にたつことを願っている。

※付録大安興寺旧地の図は、原本である広報を鳥取市用瀬支所からお借りしたものである。親切に対応していただいた支所の方には御礼申上げます。また、付録神社絵図の掲載に関しては、鳥取県立公文書館の伊藤康氏と山内美緒氏にたいへんお世話になりました。御礼申し上げます。

（岸本　覚）

2011 年度　無駄安留記隊 隊員

| | | |
|---|---|---|
| 内野　優三郎 | （うちの　ゆうさぶろう） | 鳥取大学地域学部地域文化学科 |
| 岡　　綾 香 | （おか　あやか） | 〃 |
| 門脇　　仁 志 | （かどわき　ひとし） | 〃 |
| 窪田　恵里花 | （くぼた　えりか） | 〃 |
| 進　　優 基 | （しん　ゆうき） | 〃 |
| 田中　　千 尋 | （たなか　ちひろ） | 〃 |
| 中本　　祐 介 | （なかもと　ゆうすけ） | 〃 |
| 土方　真裕美 | （ひじかた　まゆみ） | 〃 |
| 深川　　和 真 | （ふかがわ　かずまさ） | 〃 |
| 宮前　亜理紗 | （みやまえ　ありさ） | 〃 |

| | | |
|---|---|---|
| 茨 木　　透 | （いばらき　とおる） | 鳥取大学地域学部地域文化学科教員 |
| 岸 本　　覚 | （きしもと　さとる） | 〃 |
| 田 中　　仁 | （たなか　ひとし） | 〃 |


無駄安留記隊報告書 2011

鳥取大学地域学部地域文化学科 2011 年度地域文化調査

2012 年 3 月 31 日　発行　（非売品）

編　者　　田 中　　仁
　　茨 木　　透
　　岸 本　　覚

発行所　　鳥取大学地域地域学部地域文化学科
　　〒 680 - 0945　鳥取市湖山町南 4 - 101
　　http://www.rs.tottori-u.ac.jp/ibaraki/mudaaruki/
印　刷　　勝美印刷株式会社